

4. 展示場所

ポスター：ホテルメトロポリタン盛岡(本館) 4F
 クリティカルパス：いわて県民情報交流センター 5F
 ギャラリーアイーナ

5. 展示方法

- (1) パネルの大きさは第15回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページのとおりです。
 演題名、施設名、演者名を書いた20cm×70cmの用紙を各自でご準備ください。
 演題番号は事務局で用意致します。
- (2) 演題番号を確認の上、掲示してください。発表データの用紙の指定は特にありません。
- (3) 画鋏は各パネルに備え付けてあるカップ内のものを使用してください。
- (4) 演者の目印として各パネルに青リボンをご用意致しますので、必ずご着用ください。

6. 学会賞表彰式(閉会式)

- (1) お申込み頂きました「一般演題(ポスター)」と「クリティカルパス展示」の中から優秀な演題に「学会賞」を授与致します。
- (2) 受賞者の掲示と表彰式は以下の通りとなりますので、受賞者の方は必ず閉会式にご出席をお願い致します。
- (3) 受賞者掲示場所と表彰式
 掲 示【日時】6月15日(土) 14:00
 【場所】A会場(盛岡市民文化ホール ホワイエ)
 表彰式【日時】6月15日(土) 17:00
 【場所】B会場(盛岡市民文化ホール 小ホール)

※詳細は、第15回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ(下記記載)を参照ください。

問い合わせ先：**第15回日本医療マネジメント学会学術総会**

事務局：岩手県立中央病院 業務企画室

〒020-0066 岩手県盛岡市上田1丁目4-1
 TEL 019-653-1151 FAX 019-653-4830
 E-mail jhm2013-office@umin.ac.jp

運営事務局：有限会社ヤマダプランニング

〒020-0011 岩手県盛岡市三ッ割字久保屋敷13-21
 TEL 019-663-1801 FAX 019-663-1802
 E-mail jhm15-office@yamada-planning.co.jp

第15回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ

<http://jhm15th.umin.jp/>

開催報告**支部学術集会****第13回福岡支部学術集会**

学術集会会長：国立病院機構福岡病院副院長 小田嶋 博

第13回福岡支部学術集会は2013年2月2日、福岡市博多区のパピヨン24で開催させていただきました。普段から、最近の医療現場において注意すべきことはコミュニケーションであり、これがうまく行かないことが、多くのトラブルのもとになっていると考えていたために、テーマとしては、「医療人として求められるヒューマンコミュニケーション」とさせていただきました。また医療安全もこれとの関連の中で考えてみたいと思い、特別講演は、以前に、医師会の講演でお聞きした、日本航空の小川 良機長に「航空業界の安全管理ーパイロットのリスク管理ー」をお願いし、素晴らしいご講演でした。シンポジウムは「チーム医療を支える多職種間の連携」としました。これも好評でした。一般演題も、冷牟田先生はじめ多くの先生のご協力によって多くの演題を頂きました。今回、168人の方のご参加でしたが、参加いただきましたすべての方から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

第6回大阪支部学術集会

学術集会会長：近畿大学医学部外科内視鏡外科部門教授 今本治彦



シンポジウム風景

2013年2月16日(土)に大阪国際交流センターにおきまして、第6回大阪支部学術集会を開催させていただきました。「協同と連携ー大阪医療の未来をみつめて」をテーマに、80題

の演題と約450人の方にご参加いただきました。特別講演は、「大阪の医療の現状と課題」をテーマに大阪府立病院機構理事長の遠山正彌先生に、外科医・麻酔医であり作家の久坂部 羊先生には、「患・医ギャップー患者と医療者の溝は埋められるか」というテーマでご講演いただきました。また、大阪地方裁判所の判事の方々に、「医療裁判のガイドン」をおこなっていただきました。

シンポジウムは「感染・チームで取り組むアウトブレイクへの対処」と「医療の質の向上を目指した臨床検査技師の新たな取り組み」を取り上げ、種々の取り組みを紹介していただきました。

パネルディスカッションとして「地域連携の現状と問題点」を取り上げ、6人のパネラーに問題点を論じていただきました。